

四日市市デジタル田園都市構想総合戦略（R7～R11 まで）

（現 四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の策定について

1. 四日市市総合計画（2020⇒2029）の中間見直しについて

四日市市総合計画（以下「総合計画」という。）について、計画期間の前半5年間（令和2年度から令和6年度）の進捗状況を検証したうえで、令和7年度からの後半5年間の計画期間に向けて、基本計画のうち重点的横断戦略プランの策定とともに、分野別基本政策の必要に応じた見直しを行う。

2. 見直し内容

（1）現行の総合計画の構成及び期間

- ・基本構想：令和2年度～令和11年度（10年間）
- ・基本計画
 - <分野別基本政策>：令和2年度～令和11年度（10年間）
 - <重点的横断戦略プラン>：令和2年度～令和6年度（5年間）
- ・推進計画：毎年ローリング形式

（2）対象：令和7年度～11年度（後半5年間）の重点的横断戦略プランの策定 分野別基本政策の必要に応じた見直し

（3）業務の主な内容

- ・前半5年間の進捗状況の検証や社会情勢変化（コロナ禍、カーボンニュートラル、デジタル技術革新 等）の整理
- ・市民意見の聴取、及び意見内容の整理と計画案への反映 等

○スケジュール

	令和5年度	令和6年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市議会		市議会との協議										◎ 2月定例会議会 審査・議決		
市民参画		市民意見の聴取										パブリック コメント 実施		
庁内検討	<ul style="list-style-type: none"> ・人口動態等基礎調査 ・社会経済状況の変化の把握 	見直し計画案作成										議案作成・ 上程		
四日市市デジタル田園都市構想総合戦略策定スケジュール		総合計画の中間見直し計画案を 踏まえ素案作成										パブリック コメント 実施		策定
													第1回地 方創生推 進会議	第2回地 方創生推 進会議

【近年の社会経済状況に関する主なキーワード】

(1) コロナ禍による生活の変化

- ① 在宅勤務やオンライン授業など生活スタイルの変化
- ② チャットGPTなど生成AIのビジネスや教育現場等への導入など、新たな技術革新の加速化
- ③ 新たな感染症に対する備えの必要性
- ④ 日常生活や社会生活において孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会の推進

(2) 環境問題の変化

- ① カーボンニュートラルの実現に向けた持続可能なエネルギー政策の必要性
- ② 気候変動による平均気温の上昇や異常気象等による新たな災害リスクへの対応
- ③ マイクロプラスチックの海洋生態系への影響等を踏まえたごみの排出抑制

(3) 子育て・教育をめぐる変化

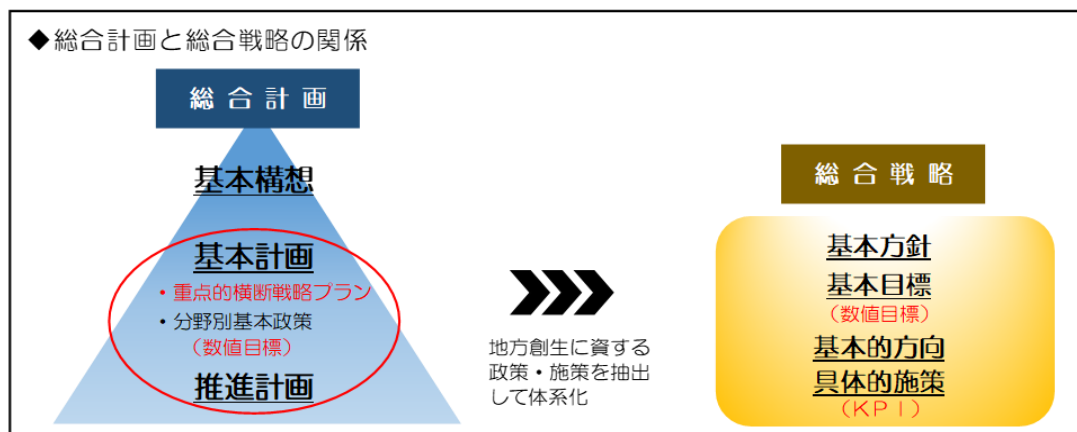
- ① こども家庭庁の創設（こどもまんなかの社会の実現）
- ② 少人数学級（学級編成の標準の段階的な引き下げ）やICT活用の加速化などの教育環境の変化と、教員の労働環境改善に向けた動き
- ③ デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成や、学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備

(4) 企業をめぐる変化

- ① 2024年問題などによる労働力不足への対応（5G、AI、IoT等の先端技術の活用、女性活躍、外国人労働者など）や、働き方改革の推進
- ② サプライチェーンリスクの高まりや、原材料・労働者不足等による物価高騰等

3. 四日市市デジタル田園都市構想総合戦略（現：四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の策定について

四日市市デジタル田園都市構想総合戦略については、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案したうえで、上位計画である四日市市総合計画との関係性を鑑み、令和6年度の総合計画中間見直し案を踏まえた具体的施策を盛り込むとともに、新たな数値目標や重要業績指標（KPI）の設定を行い、策定する。



目標設定の考え方について

1. 第1回四日市市地方創生推進会議（R5.9.8開催）での委員意見

(1) 数値目標と重要業績評価指標（KPI）の設定について

- ・数値目標と KPI 及び具体的施策との関連性がわかりにくい。それぞれの因果関係や目標値設定の根拠が示されていると良い。
- ・KPI の中には、件数や数値だけで評価することが必ずしも適切ではないものもある。指標の設定にあたっては、市としての施策の方向性が見える工夫が必要である。
- ・KPI は、できるかぎり客観的なものとするのが良い。
- ・成果だけでなく課題・問題点をどう捉えているかを記入すると良い。

(2) 評価方法について

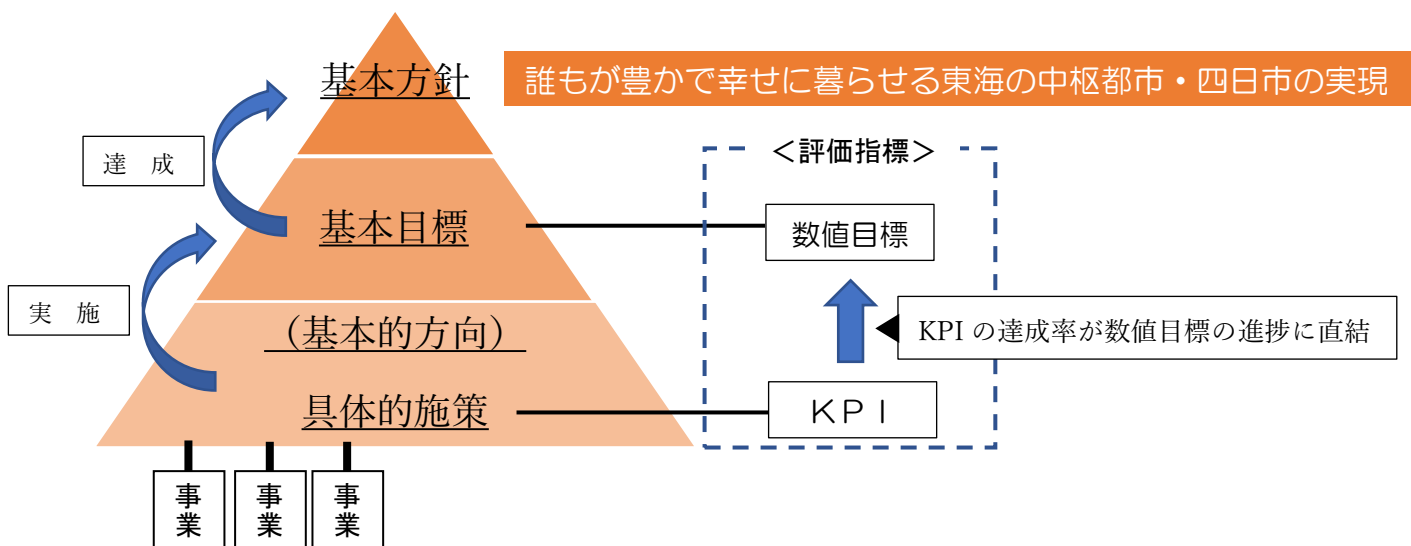
- ・目標値が5年後のものしか示されていないと、中間の各年の実績評価がしにくいいため、年度ごとの目標値を設定して進捗管理していく必要がある。
- ・数値目標については、評価基準の根拠を明確にしておくべきである。
(A…80%以上、B…60～80%、C…40～60%、D…40%以下 など)

(3) 具体的施策の内容について

- ・実施している事業の情報発信について、ターゲットを絞る、SNS を活用する等様々な方に知ってもらう工夫が必要である。
- ・産業施策について、産業振興という視点が重視されるのはやむを得ないが、中小企業においてはバブル期並みの人不足になっており、人材確保や人口維持などの視点も必要ではないか。
- ・安心して暮らせるというのがまちの魅力の一つになりうると考えれば、公害の経験からくる環境の視点や、四日市港や臨海部コンビナートの立地を踏まえた防災の視点を具体的施策に取り入れても良いのではないか。

2. 意見を踏まえた数値目標、KPI の考え方

(1) 総合戦略の構成と数値目標、KPI の関係性



(2) 数値目標と KPI の設定—

- ・数値目標…各基本目標の達成度合いを検証し、市民等への対外的な説明を可能とするためにも、各種取り組みそのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として市民にもたらされた便益（アウトカム）に関する目標指標を設定する。
また、評価の客観性を確保するためにも、国等の統計などに示されるデータや市政アンケート結果など、客観的な指標を定めることに努める。
- ・KPI ……上位指標である数値目標の進捗に直結するような KPI を選定する。
また、具体的施策の取り組みの進捗度合いが分かりやすく、客観的に把握できる指標とする。

<上記の考え方を基にした指標案>

基本目標 1：果敢に挑戦し、新時代に飛躍する産業のまち

- | | | |
|------|--------------------|----------|
| 数値目標 | ・ 1人あたり可処分所得 | ・ 市内総生産 |
| KPI | ・ 企業立地奨励金指定事業の指定件数 | ・ 製造品出荷額 |
| | ・ 創業件数 | ・ 農業産出額 |

基本目標 2：東海エリアの西の中核都市【核】として存在感と魅力にあふれ、人で賑わう「市」のまち

- | | |
|------|--------------------------|
| 数値目標 | ・ 年間入込客数 |
| KPI | ・ インスタグラムフォロワー数 |
| | ・ 公式 LINE 登録者数 |
| | ・ 四日市公害と環境未来館来館者数 |
| | ・ 中心市街地の歩行者流量 |
| | ・ 電子書籍の貸し出し数 |
| | ・ 四日市港への来港者数 |
| | ・ 東京圏からの移住者に対する移住支援金交付件数 |

基本目標 3：誰もが安心して子育て・子育てでき、子育て世代から選ばれるまち

- | | |
|------|------------------------------------|
| 数値目標 | ・ 市民が子育てしやすいと感じている子育て世帯等の割合 |
| KPI | ・ 子育て支援アプリ「よかプリコ」のダウンロード数 |
| | ・ 子育て支援センターや子育て世代包括支援センターにおける相談件数 |
| | ・ 保育園・地域型保育事業施設等における低年齢児（0—2歳）の園児数 |
| | ・ 全国学力・学習状況調査正答率 |
| | ・ 全国体力・運動能力調査合計得点 |
| | ・ 四日市市マリッジサポート事業のカップル成立数 |

基本目標 4：いつまでも元気で活躍でき、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまち

- | | | | |
|------|---------------------|-------------------|------------------|
| 数値目標 | ・ 健康寿命 | ・ 人口（30万人維持） | ・ 住み続けたいと思う市民の割合 |
| KPI | ・ 防火訓練参加人数 | ・ 食料、飲料水の備蓄率 | |
| | ・ 木造建築物の耐震化補助金の申請件数 | ・ 行政手続きのオンライン化事業数 | |
| | ・ スポーツイベントへの参加者数 | ・ スポーツ施設利用者数 | |
| | ・ 住民主体サービス利用者数 | ・ 訪問看護サービス利用者数 | |
| | ・ 認知症サポーターの人数 | | |

四日市市デジタル田園都市構想総合戦略評価シート

基本目標 3

基本的方向 1	
具体的施策	

1. 各年度の取組計画

令和 7 年度	
---------	--

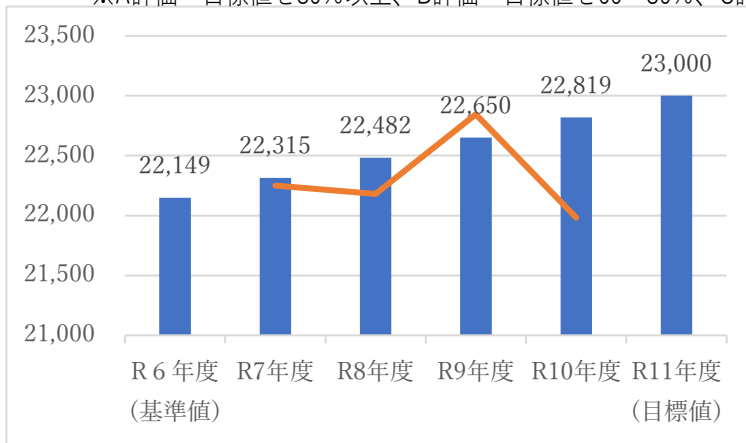
2. 各年度の具体的取組

令和 7 年度	
---------	--

3. 評価

重要業績評価指標 (KPI) の推移		R6年度 (基準値)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度 (目標値)
	目標値						
	実績値						
	達成率						
	評価						

※A評価…目標値を80%以上、B評価…目標値を60～80%、C評価…目標値を40～60%、D評価…目標値を40%以下



グラフィイメージ

4. 目標達成に向けた課題・次年度の取組、新たな取組の検討

課題	
課題を踏まえた次年度以降の取組	
目標達成に向けた新規取組	

四日市市デジタル田園都市構想総合戦略評価シート

基本目標 3 誰もが安心して子育て・子育てでき、子育て世代から選ばれるまち

基本的方向 1	ライフステージ別に子育ての負担や不安を軽減し、子どもを産み育てたいと願う人の希望がかない、すべての子どもが健やかに成長できる社会を実現する
具体的施策	不妊治療費助成の対象者拡大、妊婦や乳幼児の健康診査事業の充実、こども医療費の窓口負担無料化の対象者拡大、経済的理由から就学が困難な高校生・大学生等への給付型奨学金の制度創設など、妊娠前から子育て中のライフステージ別に経済的負担を軽減します。

1. 各年度の取組計画

令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none">・不妊治療費助成については、令和 6 年度に助成対象を拡大したところであるため更なる拡充ではなく、妊娠を望む方々に制度を利用してもらえよう周知・啓発に努める。・子ども医療費助成については、令和 6 年 10 月から 18 歳年度末まで窓口負担無料化とするなど対象年齢を拡大する。・妊婦乳幼児の健康診査事業については、歯科健診事業、1 か月児健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査の受診に要する費用の一部の助成、過去 3 年間の利用者に対し、アンケートを実施し、制度利用にあたっての課題点等の分析を行い、制度を利用してもらいやすい環境整備にむけた意見聴取を行う。
---------	---

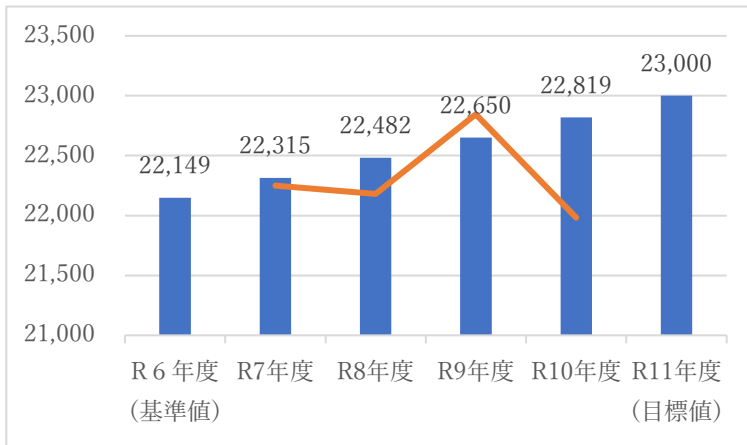
2. 各年度の具体的取組

令和 7 年度	<p>不妊治療費の助成については、前年度よりも周知・啓発を行うため、利用者向けの案内チラシの作成や、設置先を市内公共施設全域に拡充した。</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども医療費助成については、令和 6 年 10 月から 18 歳年度末まで窓口負担無料化とするなど対象年齢を拡大した。・妊婦乳幼児の健康診査事業については、歯科健診事業、1 か月児健康診査及び新生児聴覚スクリーニング検査の受診に要する費用の一部の助成、過去 3 年間の利用者に対し、アンケートを実施し、制度を利用してもらうための情報収集に努めた。
---------	--

3.評価

重要業績評価指標 (KPI) の推移		R 6 年度 (基準値)	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度 (目標値)
子育て支援センターや子育て世代包括支援センターにおける相談件数	目標値	22,149	22,315	22,482	22,650	22,819	23,000
	実績値		22,250	22,180	22,845	21,982	
	達成率		99.7%	98.7%	100.9%	96.3%	
	評価		A	A	A	A	

※A評価…目標値を80%以上、B評価…目標値を60～80%、C評価…目標値を40～60%、D評価…目標値を40%以下



4.目標達成に向けた課題・次年度の取組、新たな取組の検討

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費の助成については、対象範囲を拡大したが、申請件数の増加につながっていない。 ・子ども医療費助成については、積極的に利用する方が増えすぎた場合、受け入れ先医療機関の確保が必要となる。
課題を踏まえた次年度以降の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の啓発を実施する際に、公共施設だけでなく、民間施設での配布や民間企業で周知する方法等を検討し、対象者となる方が情報を知ることができるように取組む。 ・子ども医療費助成の医療機関等と連携を強化し、医療機関受信者数が増加してきた場合の対応についても協議を行う。
目標達成に向けた新規取組	